

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		交通遺児家庭等レクリエーション				所管	区民部 子育て支援課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 5 3 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし			
	事業対象	区内在住の交通遺児家庭及びひとり親家庭の親と子ども(4歳から義務教育終了前まで)						
	事業目的	親子関係が希薄になりがちな交通遺児家庭・ひとり親家庭において、親子で過ごす時間を作ることは重要なことであり、普段交流の少ない家庭同士が連携することにより、ひとり親家庭の福祉増進を図る。						
	事業内容	年2回(春・秋)台東区母子寡婦福祉協議会と共催で、交通遺児家庭、ひとり親家庭を無料招待し、関東近辺のレジャー施設にバスで日帰りのレクリエーションを開催する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	実施回数	回	2	2	2	2	
		参加定員	人	80	80	80	80	
	成果指標	アンケート集計結果(満足度)	%	100.0	96.0	100.0	100.0	
		参加人数	人	80	64	70	79	
	決算額 (単位:千円)				393	355	263	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,350	2,499	2,556	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			393	356	263	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			1,743	2,855	2,819	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			296	211	163	
一般財源(区負担額)			1,447	2,644	2,656			
前年度から改善した事項		ポスターをカラー印刷することで目立たせることや、ホームページの新着情報に複数回掲載することで周知を図った。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	親子関係が希薄になりがちな交通遺児・ひとり親家庭において、親子で過ごす時間を作ることは重要なことである。参加者の満足度も高く、ひとり親家庭の福祉の向上につながっている。					
	効率性	3	バスによる日帰りレクリエーションの方法を継続しており、効率性に大きな変化はない。					
	手段の適切性	4	郊外施設への外出は経済的な負担も大きく、交通手段も限られる。現在の大型バスによる移動は小さいお子さんを持つ方にとっても参加しやすい形態である。					
	目的達成度	4	バスレクリエーションの参加申込みは定員を超過しており、当日のアンケートでは満足度も高いため、目的は達成している。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
本事業は、参加家庭が親子でゆっくり過ごす機会をつくることにより、ひとり親家庭の福祉の向上につながるため、継続していく。						維持		